

第3回 沖縄国際映画祭

第3回沖縄国際映画祭が2011年3月18日(金)～27日(日)の10日間、宜野湾市の沖縄コンベンションセンター及び周辺地区を第1会場、那覇市の桜坂劇場及び国際通り周辺・北谷町及び周辺小中学校を第2会場として開催されました。

本イベントは、2009年3月に、沖縄で初めて開催され、オープニングセレモニーでは、招待作品・出品作品の監督や出演者がレッドカーペットから続々と登場する演出に、来場者から大歓声があがるという、沖縄ではあまり経験できないような光景に驚かされたものです。今回のオープニング・レッドカーペットは、曇り空で少



(C) 沖縄国際映画祭実行委員会

し肌寒い天候でしたが、MCの今田耕司さん、木佐彩子さん等、豪華出演者の皆さんがイベントを盛り上げてくれました。

本イベントの開催直前に東日本大震災が発生し、多くの方々が被災されましたが、沖縄国際映画祭は、「ラフ&ピース(Laugh&Peace)」の精神の下、笑いと笑顔を通じて、世界中の人々の心に平和と幸せを届けることを目的としております。人々の顔から多くの笑顔が消えようとしているこの時であるからこそ、さらに「エール、ラフ&ピース



(C) 沖縄国際映画祭実行委員会

「Yell, Laugh&Peace)」をコンセプトとし、被災地への募金活動をはじめとしたチャリティーの他、被災地から遠く離れた沖縄の地から被災された方々の元へ地元沖縄や国内外の出演者・関係者からたくさんの「心のつながり」と熱い「エール」を発信しました。

3回目を迎えた今回は、3月18日(金)の那覇市内等でのエール、ラフ&ピースカウントダウンフェスタに始まり、22日(火)には宜野湾市の沖縄コンベンションセンター及び周辺へ会場を広げ、長編プログラム(Laugh部門12作品、Peace部門13作品)、地域発信型プロジェクト(7作品、沖縄からは宮古島市の「一粒の種」真太陽の島の大合唱)がエントリー、特別上映作品(日本のコメディ7作品、世界のコメディ4作品、リスペクト上映4作品、おもしろB面映画特集20作品、パノラマスクリーン7作品など)の上映をはじめ、ビーチステージイベント、沖縄コンテンツランド(*参照)などが行われました。また、特別上映作品として、沖縄の本部町で「あじさい弁当」を営みながら、高校生たちと音楽スタジオ「あじさい音楽村」を作り上げた故仲宗根陽さんの心温まる実話を映画化した「天

今年もやってきた! Yell, Laugh & Peace



(C) 沖縄国際映画祭実行委員会

地域発信型プロジェクト

Projects from Local areas

今回の映画祭では、地域発信型プロジェクトとして、以下のような、新たな取り組みも行われ、地域の魅力が世界に発信されました。

「地域発信型映画」

各地域の方々の持つ地域の情報、生活、伝承、地域ごとの産業・物産・観光情報などを取り込み、その土地ならではの映画作品を地域の方と共に制作し、情報発信も行う。

「JIMOT CM COMPETITION」

各地にお住まいの方々から「地元を愛する心で、地域の住民だからこそ知っている、全国に知らせたい」ことを「CMの企画」として募集し、その企画を元に「各地のCMを一緒に作ろう」というコンペ企画。



(C) 沖縄国際映画祭実行委員会

国からのエール」も上映され、笑いだけではなく多くの感動も分かち合うことができました。

期間中は天候に恵まれず曇り空で小雨の降る日もありましたが、人気俳優・女優・芸人さんに一目会おうと、多くの観衆が集まり、期間中、老若男女で会場は熱気につつまれました。

* 沖縄コンテンツランド

世界水準のクオリティを誇る日本の映画・TV・出版・ゲーム・モバイルなどのコンテンツホルダーをはじめ、モバイルコンテンツ会社・映画制作会社、さらには海外からの出展社など、多彩な企業が

次回開催のお知らせ

「第4回沖縄国際映画祭」は
2012年3月24日(土)から
2012年3月31日(土)までの
期間で開催予定です。



(C) 沖縄国際映画祭実行委員会

一堂に会し、来場のお客様に、コンテンツや各種製品、サービス等を紹介。